

1. 基本理念

種子島開発総合センターは、鉄砲伝来に関する種子島銃や、国内外の銃が数多く展示されていることから、「鉄砲館」の愛称で多くの人々に親しまれてきた。これまで、その役割とあり方については、以下の3点に重点を置いて活動を展開している。

- ①種子島を訪れる多くのお客様に対して、「種子島は歴史と文化の薫り豊かな島である」という情報を発信すること。
- ②種子島に暮らす住民、特に児童生徒に対しては、ふるさとの歴史と文化を学ぶための学習施設としての役割を果たすこと。
- ③文化芸術を愛する島民の皆さまにとっては、生涯学習施設として、日頃の活動の成果を披露する場とすること。

2. 施設概要

施設名称	種子島開発総合センター
所在地	鹿児島県西之表市西之表 7585
竣工年月日	昭和 58 年（1981）3 月 31 日
敷地面積	5,143.03㎡
建築面積	1,552.35㎡
延べ床面積	1 階 1,512.00㎡　2 階 289.05㎡　計 1,801.05㎡
構造	鉄筋コンクリート造 2 階建
仕上概要	屋根 【昭和 58 年（1981）建築部分】均しモル厚 15 アスファルト防水 3 層 シタ [※] -コンクリート厚 60 防水モル目地切仕上げ 【平成 8 年（1996）増築部分】コンクリートで押え塗膜防水の上防水用保護材（シパ [※] -2 液性 1 回塗）仕上（塗膜防水ウレタン系 3.5kg/㎡以上） 東・南面外壁 【昭和 58 年（1981）建築部分】：玄関廻り人造石タイル貼、その他の面コンクリート打放着色仕上 西・北面外壁 【昭和 58 年（1981）建築部分】：コンクリート打放目地切の上着色仕上 【平成 8 年（1996）増築部分】：コンクリート打放しの上アクリル系吹付タイル
用途地域	第 1 種住居地域
建ぺい率	60%
容積率	200%

3. 当館が目指すべき姿

- (1) 我がふるさとの歴史や民俗を楽しく学べる場へ
 - ①市民が、ふるさとである種子島の歴史や文化を楽しく学ぶ場へ。
 - ②学校の行事で来館するだけでなく、何度も足を運ぶ楽しく体験できる場へ。
 - ③学校での郷土史教育との連携。
- (2) 種子島の歴史や文化を発信し、文化財を保存・公開する場へ
 - ①種子島のシンボリック観光施設として、種子島を訪れる観光客は必ず来館する施設へ。
 - ②種子島を知らない人でも、ここに来れば種子島のこと的理解できるといった、わかりやすく楽しい観光施設へ。
 - ③外国人に対応した展示案内（サイン等）の改善。
 - ④種子島の旅の思い出として、ミュージアムショップを充実させる。
 - ⑤種子島の文化財を適切に保存・公開し、市民により親しみを持ってもらえる場へ。
- (3) 市民の学習活動を応援できる場へ
 - 市民が日頃の学習活動において製作した作品を展示できるスペースを確保する。
 - それによって、馴染みのなかった博物館へ市民が足を運ぶ機会を増やすことを促す。

重視すべき項目	内容
インタラクティブ（双方向性）な展示	① VR や AR、シミュレーションやタッチパネルを用いた、直感的にわかりやすい展示 ② 視覚だけでなく、実際に触れたり匂いを嗅いだりすることのできる、五感で感じられる展示 ③ 火縄銃の射撃シュミレーターや、鉄砲伝来当時の装束を着るなど、島の暮らしを体験できる展示
多角的な展示	① 歴史の事実の羅列ではなく、物語として伝えることで、より多くの人に興味を持たせる展示 ② 鉄砲伝来について、種子島以外（外国や日本全体）の歴史的背景や社会に与えた影響を展示 ③ 鉄砲伝来を発端として、種子島の技術や芸術がどのように発展したかについての展示 ④ 種子島の火縄銃と、世界各国の銃の違いを比較できる展示
視覚的な展示	① 文章中心ではなく、展示物の特性に合わせて映像やイラストを効果的に用いた展示 ② 既存の鉄砲伝来物語回転ジオラマをより印象的に見せる展示
全ての人にわかりやすい展示	① 多言語パネルや多言語対応の音声ガイドなど、国外からの観光客にもわかりやすい展示 ② 点字や映像の字幕表記、触れて形を確認することができる展示など、身体障がいをもつ人にもわかりやすい展示
子ども達への教育プログラム	① 参加型ワークショップや、歴史講座・工芸体験など、種子島や島外の学校に向けた教育普及活動 ② 専門家による出張講演会や、学校への学習教材の提供 ③ 博物館が主催する作品展の開催や、学校の生徒の図画工作・美術作品の展示
地域住民との連携	① 地域住民（高齢者の方々）から昔話や出来事を聞く機会を市民に提供し、語り部の育成を図る ② 学校行事や地域イベント、観光協会との連携を図り、相互でイベント情報などの発信を行う ③ 種子島マイスターやボランティアガイドの育成
広報活動	① 地域メディア（新聞やテレビ、ラジオ）での広報活動 ② SNS 運用や博物館公式ウェブサイトの充実 ③ 島外・県外の地域への講演会・イベント開催、海外での展示や国際会議での発表など ④ オリジナルグッズやお土産の商品開発、地元企業や地元作家とのコラボレーション企画など

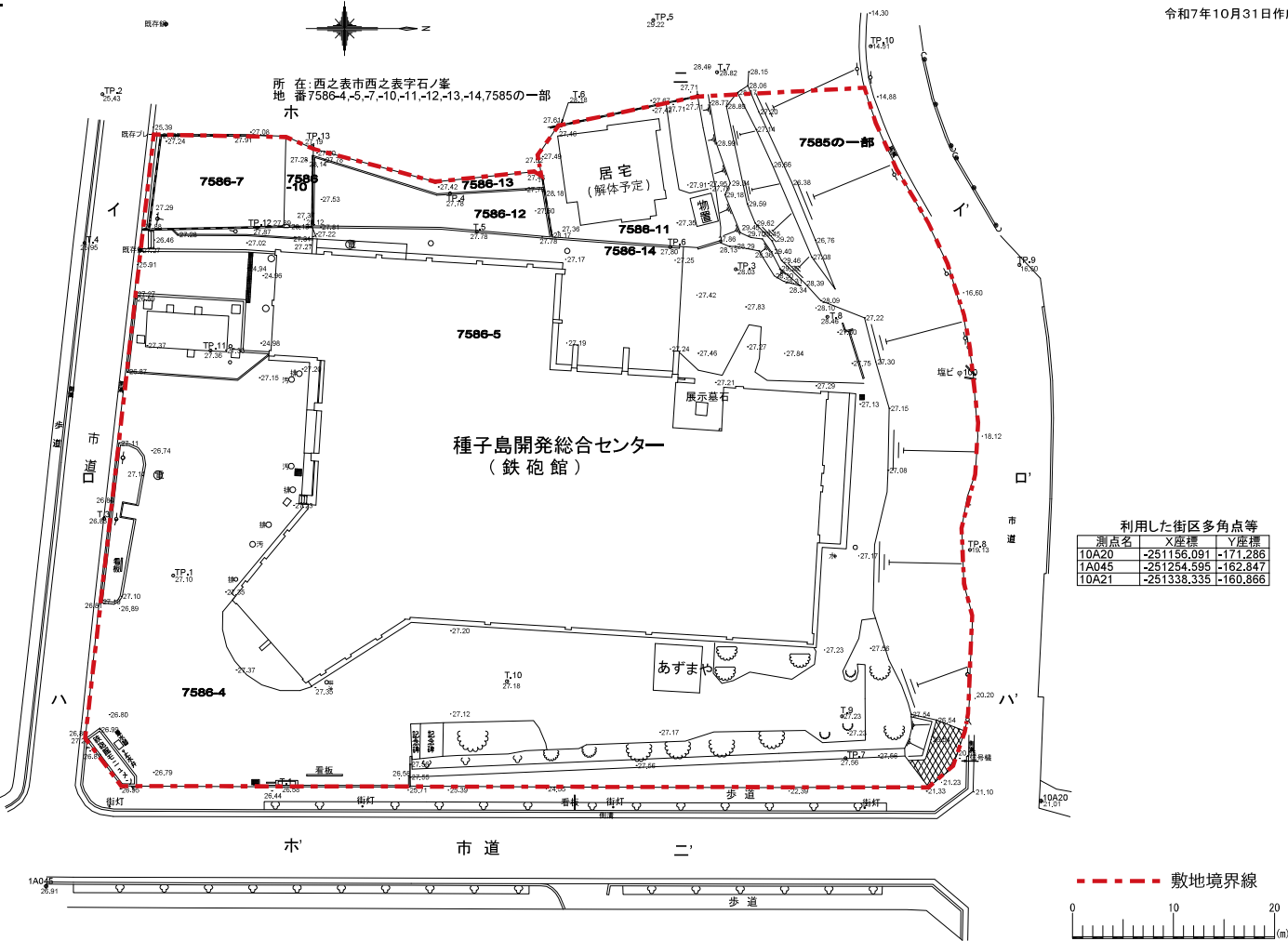
4. 現状の改善が必要と考えられる点（例）

- ① 展示空間について
 - ・ 展示内容や資料特性に応じて調整可能な照明計画を導入し、展示空間全体の演出性と視認性を向上させる。
 - ・ 通路幅や展示配置を見直し、団体来館や車椅子利用時にも安全で円滑に回遊できる動線を確保する。
 - ・ 展示ケースや展示台を更新し、低反射ガラスや適切な高さ設定により誰もが見やすい展示環境を整える。
 - ・ 映像や音響設備の配置を改善し、展示間の音干渉を抑えた快適な観覧環境と没入感を実現する。
 - ・ 可動展示台やモジュール型展示パネルを導入し、職員主体で柔軟に展示更新できる環境を構築する。
 - ・ 修学旅行や団体利用時に対応できる説明・待機スペースを整備し、円滑な学習活動を支援する。
 - ・ 展示構成を時系列かつ物語性のある構成へ再編し、来館者が理解しやすい展示動線へ改善する。
 - ・ 図解やイラスト、多言語解説などを活用し、子どもから海外来館者まで理解しやすい展示を実現する。
 - ・ AR・VR や映像演出を活用し、火縄銃や鍛冶技術を体験的かつ臨場感ある形で学べる展示を導入する。
 - ・ 地域文化や技術継承をテーマとした参加型・教育型展示を充実させ、学習機能と地域性を強化する。
 - ② 建物全体について
 - ・ 駐車場区画や車両動線を再整備し、一般車・大型バス・車椅子利用者が安全に利用できる計画とする。
 - ・ 歩車分離やスロープ整備を行い、車椅子やベビーカー利用者にも配慮した安全なアクセス環境を整える。
 - ・ 屋外サインや案内表示を統一デザインで再整備し、施設の視認性や誘導性を向上させる。
 - ・ 屋根付き通路やバリアフリー舗装を整備し、雨天時でも安全かつ快適に移動できる環境を形成する。
 - ・ 植栽やライトアップ、ベンチ等を整備し、地域住民や来館者が滞在できる魅力的な外構空間を創出する。
 - ・ 屋外イベントやワークショップ利用を想定し、照明や電源設備を備えた多目的空間を整備する。
 - ・ 恒温恒湿設備や収蔵ゾーニングを導入し、文化財保護に適した高機能な収蔵環境を構築する。
 - ・ 作業室や中間収蔵室、搬出入動線を整備し、安全かつ効率的な収蔵管理体制を確立する。
 - ・ 将来的な増築や地域連携利用を想定し、公開型収蔵や共用閲覧機能を備えた施設計画を行う。
 - ・ エントランスやトイレを刷新し、観光案内機能や快適性、バリアフリー性能を総合的に向上させる。
- ※上記は現時点で想定される改善事項の一例であり、基本構想・計画の提案内容によっては、この限りではない。

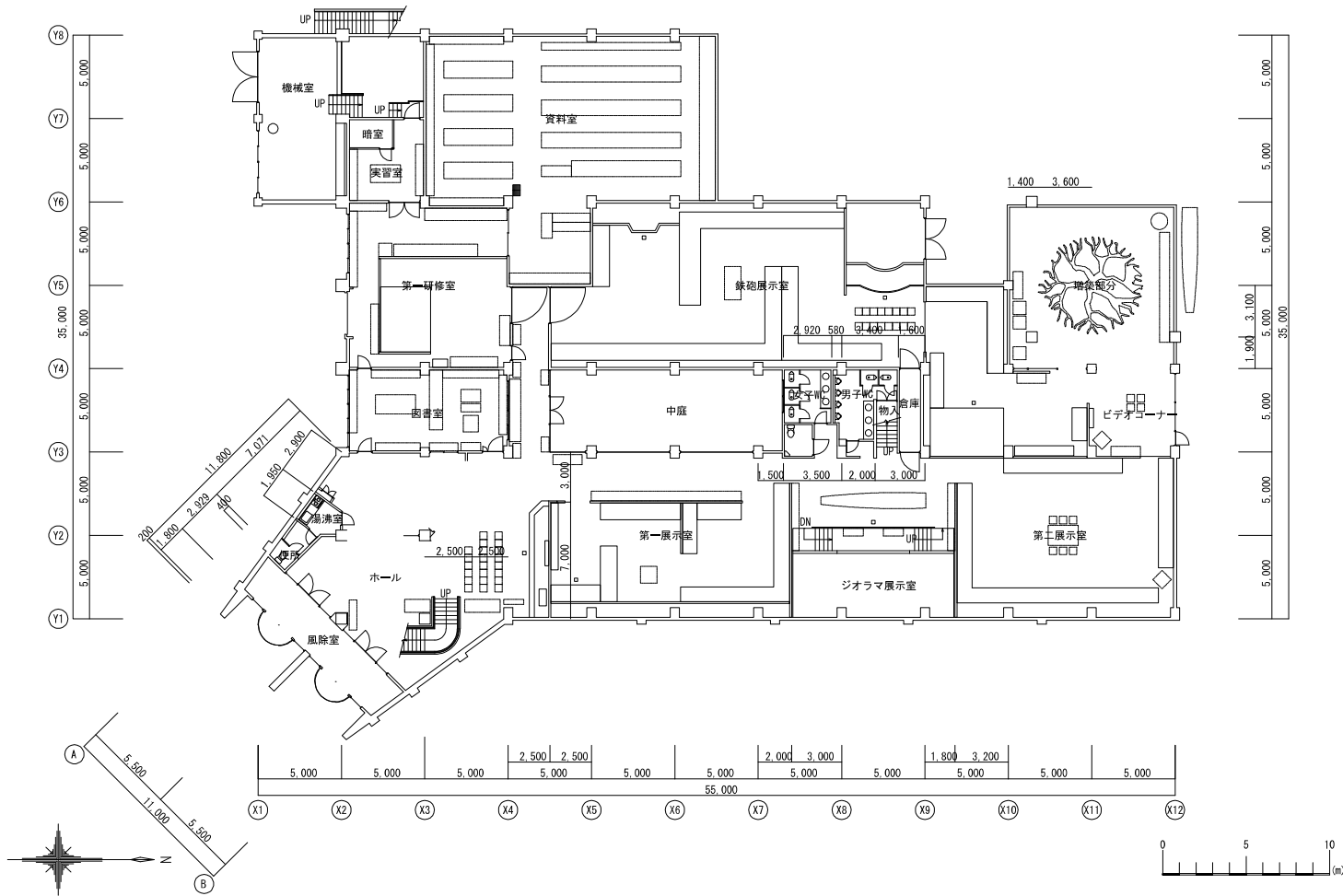
5. 想定される最低限必要な機能・用途

エリア	機能・用途	内容
公開エリア	教育・普及	・ 屋内外で各種体験学習を行う機能 ・ 講演会やワークショップを開催する機能 等
	学習・交流	・ 図書の閲覧機能 ・ 子供や市民等が活動や作品、研究成果等をを発表・展示する機能（ギャラリー等） ・ 来館者同士で情報交換する機能 等
	附帯	・ カフェなど、休憩や飲食する機能 ・ 図録やグッズ等を販売する機能 ・ 各種会合や集会を開催する機能 等
	共用	・ 来館者への案内や受付を行う機能 ・ 駐車・駐輪できる機能 ・ エレベーター等の移動機能 ・ 授乳やおむつ交換できる機能 ・ オストメイトを含む多機能トイレ 等
展示エリア	展示	・ 博物館資料の展示や体験を行う機能 ・ 種子島について体系的且つ体験的に学べる常設展示機能 ・ 特別展を開催する機能 等
	共用	・ 廊下や階段、エレベーターなどの移動機能 ・ オストメイトを含む多機能トイレ 等
管理エリア	管理	・ 職員等が執務を行う機能 ・ 職員等が会議を行う機能 ・ 清掃員やボランティア等が待機する機能 等
	共用	・ 備品、資材等の保管を行う機能 ・ 事務用品や行政文書等を保管する機能 ・ 廊下や階段などの移動機能 等
収蔵エリア	収蔵	・ 博物館資料を安全に収蔵する機能 ・ 博物館資料を収蔵しながら展示空間としても供する機能 ・ 恒温恒湿で資料を収蔵する機能 ・ 収集資料の洗浄・燻蒸・整理等を行う機能 等
	共用	・ トラックヤード、荷解き場等の搬出入機能 ・ リフト、エレベーター等の博物館資料の安全な保管や移動に必要な機能 ・ 廊下や階段などの移動機能 等
研究エリア	調査・研究	・ 学芸員が執務や調査研究を行う機能 ・ 研究に供する図書や資料等を保管・閲覧する機能 ・ 標本資料の作成を行う機能 ・ 写真撮影を行う機能 等
	共用	・ 廊下や階段などの移動機能 等
その他エリア	設備機器	・ 電気室や機械室などの機能 等
屋外エリア	駐車	・ 一般来場者と職員でエリア分けされた駐車スペース ・ おもいやり駐車場、車いす用駐車場等の駐車スペース
	展示	・ 屋外の植物等を鑑賞できる緑地空間、歩行スペース 等
	共用	・ 座って休憩ができる休憩スペース等の機能 等

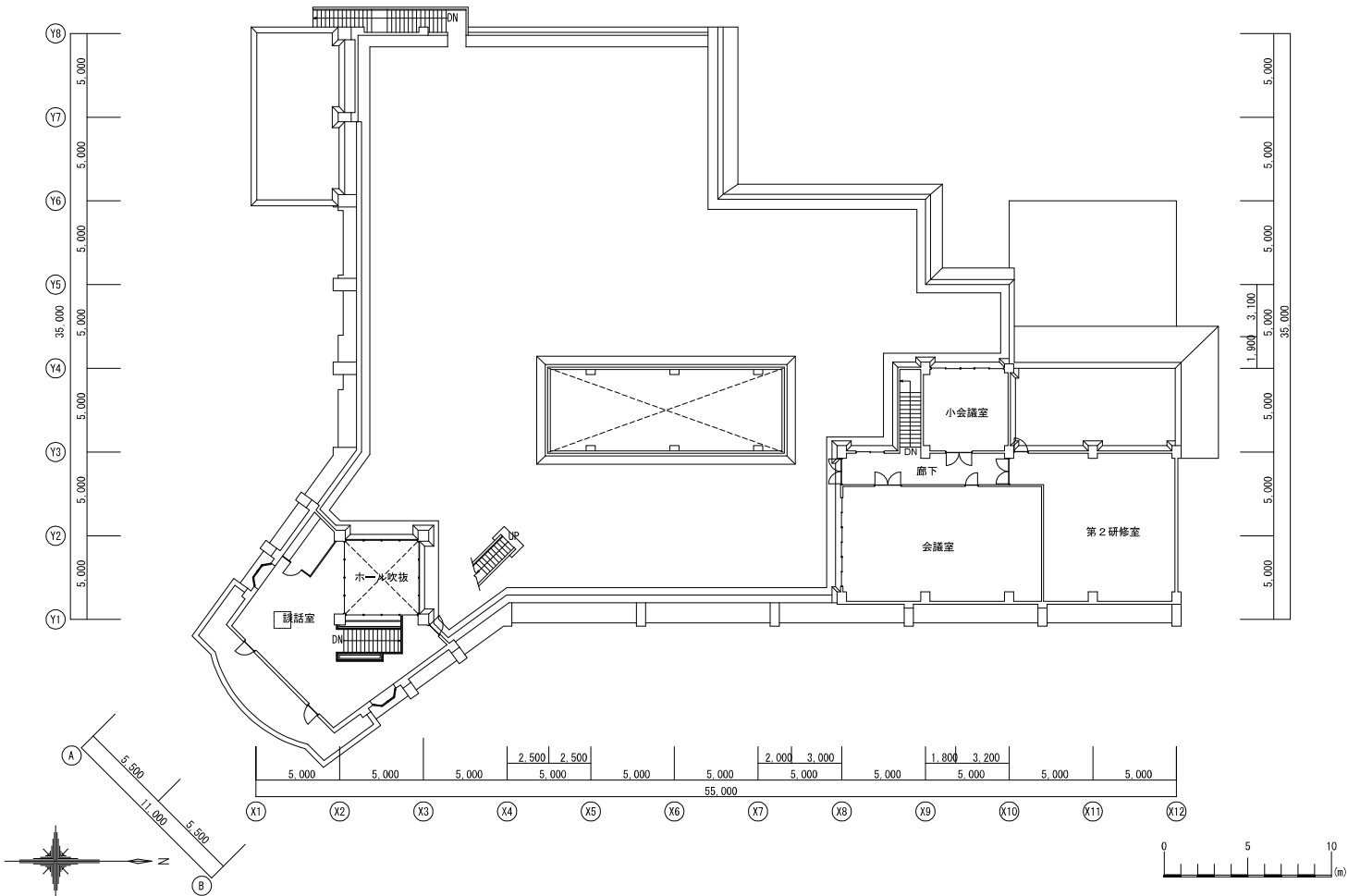
7. 測量図



8-1.1 階平面図



8-2.2 階平面図



8-3.R 階平面図

